

日本W杯決定

サッカー 4大会連続 4度目



＜日本 - ウズベキスタン＞前半、先制点を決め喜ぶ岡崎（左）と大久保。右は駆け寄る中村俊＝タシケント（共同）

最終予選 ウズベクに1-0

【タシケント6日共同】サッカーの2010年ワールドカップ（W杯）南アフリカ大会アジア最終予選A組の日本は6日、タシケントのパフタコル競技場でウズベキスタンと対戦、1-0で勝ち4大会連続4度目の出場を決めた。日本は6大陸に分かれた予選で2大会連続の突破第1号となった。

日本は前半9分、岡崎慎司（清水）が左足でシュートした後、GKにはじかれたボールを頭で押し込み先制した。その後も激しい当たりをみせる相手と互角に渡り合い、最後まで集中力を切らさなかった。岡田武史監督は日本がW杯に初出場した1998年フランス大会の予選に続き、監督として2度目の突破を果たした。

5チームのうち上位2チームが出場権を得るA組で、日本は通算4勝2分けの勝ち点14とした。日本は残り2試合に敗れ、通算4勝1分け、勝ち点13のオーストラリア以外の3チームが日本を勝ち点で上回る可能性がなくなったため、日本の2位以上が確定した。

W杯南アフリカ大会は32チームが参加して来年の6月11日から7月11日まで9都市の10会場を舞台に開催され、ことしの12月にはケープタウン（予定）で1次リーグの組み合わせ抽選会が行われる。



発行所
山形新聞社
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271
Copyright (c) 2009
Yamagata Shimbun

2009年
6月7日
＜日曜日＞

速電
報版子

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

Mbi | eやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。